

伝統を守り学習会で1年をスタート

ユートリヤに52名が結集



交流と発展を中心とした活動を行っていきます。
冒頭、山本議長より、個人的に視察をした福島第一原発事故被災地の状況報告を受け、「本部も地連も組織財政方針による組織強化の道半ば、支部からチェックを」と年頭の挨拶を行いました。

多田書記次長の講演は難しいテーマであるにも関わらず、かみ砕いて解りやすく丁寧なお話でした。最後に「行政人事制度の見直しで行(一)表を変える以上は現業系に影響が出ないはずはない。協議を行うからにはすべての課題を一括で解決する」と発言がありました。常任一同、

1月20日、ユートリヤにおいて、2017年旗開き学習会を開催しました。本部から多田書記次長を講師に迎え、情勢と課題を学ぶとともに、地連幹事を代表して小菅事務局次長の決意表明を受け、地連内全支部の団結を確認することができました。

第五地旗開き学習会

行政人事制度の見直し状況を学ぶ

第五地連は、先輩方からの伝統を引き継ぎ、パート形式ではなく、学習会という形で旗開きを行っています。今年は16確定闘争の妥結を踏まえ、「行政人事制度の検討状況と技能・業務系人事制度に与える影響」と題し、実際に区長会との交渉に携わっていらっしゃる多田書記次長に講演をお願いしました。

冒頭、山本議長より、個人的に視察をした福島第一原発事故被災地の状況報告を受け、「本部も地連も組織財政方針による組織強化の道半ば、支部からチェックを」と年頭の挨拶を行いました。多田書記次長の講演は難しいテーマであるにも関わらず、かみ砕いて解りやすく丁寧なお話でした。最後に「行政人事制度の見直しで行(一)表を変える以上は現業系に影響が出ないはずはない。協議を行うからにはすべての課題を一括で解決する」と発言がありました。常任一同、

支部旗を会場に掲げています。本来であれば全支部から決意表明を受けたところですが、時間の関係がありますので、全参加者を代表して、今年の地連活動に対する決意を小菅事務局次長から

「地連として、各区交渉の共有化やレク活動などを行錯誤をしている。まだ成熟していない」ということは伸びしきがあるということ。前進にむけて

「地連として、各区交渉の共有化やレク活動などを小菅事務局次長から全力で取り組む」と発言をしました。常任一同、地連活動の豊富化に向けて努力をしていきます。

第五地旗開き学習会



予告

第五地連 2017年春闘討論集会

2017年3月17日（金）：ユートリヤ

要旨を聞きたいとき

小菅事務局次長から力強い発言